

# 一貴山銚子塚古墳(糸島市)

いきさん

南側に説明坂が立っている/その背後のマウンドが後円部



## 4世紀後半築造の前方後円墳/前方部2段、後円部3段の築成/周濠は無いらしい

### 国指定史跡 一貴山 銚子塚古墳

所在地 福岡県 糸島市二丈田中宇大塚 100 番地 1  
築造年 4 世紀後半 昭和 32 年 国指定

長野川流域の洪積台地上に立地する糸島地方最大の前方後円墳である。

古墳は地元では「金の銚子が埋まっている」との伝説から、銚子塚と呼ばれており、古くは江戸時代、貝原益軒の『筑前國統風土記』に「神在村の西にあり。此所に大なる塚有。塚の内方三間程あり。南の方に口あり。内は石垣なり。人入る事なし。内には人の骨多し。」と紹介されていた。また、明治期に掘削された後円部の通風溝から、石室材である板石が露出していたため、昭和 20 年代前半には既に古式古墳の可能性がある事が日本考古学協会・古墳調査特別委員会において想定されていた。

調査は、1950 年（昭和 25 年）3 月に日本考古学協会と福岡県教育委員会の合同で進められ、地権者満生氏を始めとする地元有志、糸島高校の学生、一貴山村役場関係者などの援助を受けて、実施されている。



調査に携わった人々

古墳の規模は、全長 103 m、後円部径 61 m、後円部高 9.5 m、頂部径 28 m、前方部幅 29 m、高 6 m を測り、主軸方向は北側となる。

墳形は前方後円形を呈し、現状では前方部 2 段、後円部で 3 段の段築が認められるが、周濠など外部施設は確認されていない。

主体部は後円部の中央部で確認された、長さ 3.4 m、幅 1.4 m 深さ 0.8 m を測る竪穴式石室であり、内部は組合式木棺と推定されている。

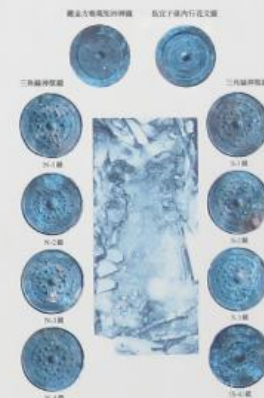
出土遺物は、石室内外より銅鏡 10 面、鉄製素環頭太刀 3 口、直刀 3 口、短刀 1 口、鉄剣 6 口、剣形鎗身 14 口、鉄製長頸鏃 14 個、硬玉製勾玉 2 個、碧玉製管玉 33 個などで、ほぼ、埋納時の位置を保って検出されている。また、石室付近の封土内より土師器二重口縁壺片も出土している。

鏡は、被葬者の頭部両脇に鍍金方格規矩四神鏡、長宜子孫内行花文鏡各 1 面が置かれ、続いて、左右に 4 面ずつ計 8 面の仿製三角縁神獸鏡が配されていた。また、頭部脇の 2 面は後漢鏡の伝世品と考えられ、三角縁神獸鏡についても兵庫県勅使塚古墳、大阪府ヌケ谷北塚古墳、佐賀県谷口古墳出土鏡と同範鏡である事が確認されている。

築造時期は、石室構造や出土遺物から 4 世紀後半と考えられるが、同一水系にある釜塚古墳、東二塚古墳などとは同じ盟主系列にあたる可能性があり、古墳時代前期、大和政権と強い繋がりを持った、糸島一帯を治めていた首長の墓と考えられている。



古墳全景



平成 16 年 3 月 糸島市 教育委員会

現在地  
▽



墳形/糸島市ホームページより



ここから後円部墳頂へ登ろう



後田部を見上げたところ



そこで左手を見たところ



これはその左手で後円部空前方部方向(北方向)を見たところ/墳丘の左手には民家が迫っている



これは少し退いて南西側から後円部を見たところ





さて、ここが後円部墳頂/正面に標柱が立っている



後円部の北寄りには溝状に大きく削られている



こんな塩梅/東側(右手)から西側(左手)に切り通しのように後円部北寄りが削られている



東側から西方向に後円部を見たところ/右手がその溝



右手を見たところ/こんな塩梅



更に右手を見たところ/右手(東側)にも民家が迫っており、先程の西側の民家との行き来の為の切り通しなのか、それにしても？



後円部の墳丘にはこのように石材が散在していた/後円部中央に竪穴式石室があったらしく、その名残りか？



これは後円部から北方向にくびれ部と前方部を見たところ/写真の手前が溝





これは西側の民家の隙間から墳丘を見たところ/左手が前方部、右手が後円部



これは北西側から見たところで、左手前が前方部、右奥が後円部



これは北側から前方部を見たところ/墳丘尻は道路で若干削られているようだ



これは東側に回って民家の庭越しに墳丘を見たところ/左手が後円部、右手が前方部



アップで見たところ/左奥が後円部、右手前が前方部



くびれ部から後円部(左奥)をアップで見たところ/写真の真ん中辺りに切り通し状の溝がある



右手の前方部をアップで見たところ



さて、これは南側にある地権者満生家の建物/左手背後が墳丘





表札には柗島家(旧満生家)とあり、建物は登録有形文化財となっているようだ





門の手前に置かれた天然記念物「鯨石」/「寄贈 満生建設」とある



こんな塩梅



参考ホームページ

<http://www.city.itoshima.lg.jp/s033/010/020/010/110/030/ikisan-kohun.html>

<http://kofunmeguriwalking.web.fc2.com/ikisanchoushizuka.html>

<http://kofun.dosugoi.net/e1028352.html>

<https://anaba-na.com/1493.html>

<https://kofunoheya.blog.fc2.com/blog-entry-1677.html>

<http://obito1.web.fc2.com/itosimanisi.html>

<https://itoshima-guesthouse.com/2017/04/23-hana-matsuri/>

